

## ソラナム パンプキン の栽培

直径3～5cmのくびれがある実を房状に付けます。色は熟すにつれて緑からオレンジ色に変わっていく。草丈は1m前後（ハウスでは1.5m以上）、株の広がりは0.7～1m前後。生育適温が比較的高く、高冷地ではハウス栽培が主流となる。

【ご注意】葉や茎に鋭いトゲがあります。作業の際には十分お気をつけ下さい。

### (播種)

2月～4月 発芽適温 20℃前後

育苗箱を使用する場合は、播種後3週間ほどで6～7.5cmポットに移植する。

プラグ育苗の場合は、50～72穴を用いると移植の手間を省ける。

育苗温度 夜間最低 10℃～15℃を確保する。日中は25℃。

### (施肥)

露地栽培で残肥料がない場合：元肥 N:P:K=各1kg/a（成分量） 追肥は様子を見て与える。

残肥がある場合は1/3～1/2などに調整する。

ハウス栽培で残肥料がない場合は、元肥 N:P:K=各0.5kg/a（成分量）、追肥は無し。

残肥がある場合は無施肥とする。

### (定植)

暖地・中間地の露地では晩霜の心配がなくなった、

5月上旬～下旬に定植する。

ハウスでは4～6月頃の定植となる。

定植間隔 株間40～60cm 1条植え

株間60～80cm 2条植え

メモ：弊社高冷地農場（標高1100m）での栽培歴

2013年4月15日 播種

5月3日 ポット上げ

5月30日 ハウス内定植

9月末～ 着色始め

### (管理)

7月～8月頃には開花が始まり、8月～10月には結実・着色となる。この期間には十分な日照がないと結実不良が起こる。対策としては余分な葉を除去する、トマトトーン100倍液の散布など。摘心：行わなくても分枝するが、本葉6～8枚程を残し摘心することでボリューム調整が出来る。

着色：実に光が当たったほうが早く着色が進む。大きな葉を取り除くと効果的。

【ご注意】茎や葉柄・葉に鋭いトゲがあります。怪我をしないように十分お気をつけ下さい。

葉を除去した際、すぐに片付けずに1日ほど置いて、萎れてから触るとあまり痛くありません。

### (収穫・出荷)

着色してから収穫する。収穫して軽く葉が萎れてから触るほうが、トゲが気にならない。

葉や余分な茎を除去してから水揚げ、出荷する。

### (病虫害)

連作は出来る限り避ける。アブラムシ類、コナジラミ類、ヨトウムシに注意する。